

# 平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

## 3 2回目評価

学校名( 乾隆小学校 )

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成27年2月16日	評価日	平成27年2月24日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	基礎・基本の学力 家庭学習の習慣化	各教科での言語活動の充実 研究活動の推進 学校だより・懇談会等での啓発	教職員・保護者・児童アンケート 児童アンケート 懇談会等	「基礎的な学力が身につく取組が進められている」A,B評価94% 「宿題をしていますか」A,B評価96%	⇒	学力調査の結果などから基礎基本の力が向上しつつあると言える。毎日の帯学習や放課後の学習を関連づけ見直しをもって取り組んだ成果と考える。10年近く取り組んでいる「よみとりおけいこ」(読解力テスト)を今後も続けていきたい。	⇒	心情面の読み取りについて課題が見られた。「よみとりおけいこ」の学習内容に物語り文の内容等も加味し、全学年で取り組んでいきたい。発言内容をまとめることや自分の考えを書く課題については、授業における意見交流をより進めていきたい。
2	豊かな心	人権意識・規範意識の醸成 豊かな体験活動の実践	ハートde乾隆の取組 人権の日の取組 ボランティア活動への参加 縦割り活動の取組	教職員・保護者・児童アンケート ハートde乾隆の取組 懇談会・縦割り活動の充実等	「集団での規律やマナーが身につく取組が進められている」A,B評価 縦割り活動では、リーダーが頑張っており、よい見本となっている。	⇒	規範意識に関わる項目では、ハートde乾隆にがんばって取り組んでいる様子が分かる。縦割り活動では、高学年がリーダーとしてがんばっている。	⇒	現在の縦割り活動は、縦割り掃除が中心で、その他行事ごとでの活動が多い。縦割り遊びなども少し日常的な取り組みをしていきたい。
3	健やかな体	体力の向上	業間マラソンの実施 マラソン大会の実施	マラソンカードの取組	マラソン大会の様子	⇒	自己の目標に向かって練習し、記録を伸ばすことで達成感を味わいながら持久力をつけるという目標で取り組みを学校全体で進められた。	⇒	記録の部分にも少しめあてをもって取り組めるとよい。がんばりプリントを効果的に活用していく。
4	独自の取組	情報発信の充実 家庭・地域との連携	学校ホームページの随時更新 各種行事への教職員の参加等	学校ホームページへのアクセス数等 教職員・保護者アンケート	アクセス数の増加 「家庭・地域と協力して子どもの教育にあっている」A,B評価99%	⇒	ホームページは、時間のあるときに意識して更新に努めている。地域行事等についても無理のない範囲での参加を教職員に呼びかけている。	⇒	ホームページの更新・地域行事等の参加については、無理のない範囲で実施していく。

## 4 総括・次年度の課題

- ・確かな学力の定着に向けた取組は、関係者評価において一定の評価をいただいた。学力向上のため図書館の整備活用について一層進めていく。
- ・保護者や地域の方に本校の教育活動について、取組内容等を分かりやすく伝えていくと評価頂いた。
- ・評価等の文言については、毎年、意図が伝わるか検討を進めていく。